

4月	2日(日)	29日(祝)
の	9日(日)	30日(日)
休	16日(日)	
館	23日(日)	
日		



葛原市民センターホームページ

やすらぎ

揮毫 林 茂

http://www.ktqc01.net/mina/khsf/



4月の予定

★行事予定は、変更・中止になる場合があります。

日	曜日	行 事	時 間
1	土	わいわい市場	11:00~
12	水	ふれあい昼食交流会	11:30~13:00
14	金	安全安心パトロール 1班	14:30~
		安全安心パトロール 2班	14:30~
		安全安心パトロール 3班	15:00~
		安全安心パトロール 4班	15:30~
18	火	気軽っちゃサロン	10:00~12:00
19	水	妊産婦・乳幼児なんでも相談	10:00~11:30
		☎ 951-4125: 詳細はHPをご覧ください。	
25	火	はつらつ会(地域でGOGO健康づくり)	13:30~
28	金	子育て広場(日豊保育園 園長先生のお話)	10:00~12:00

☆いこいの広場(葛原囲碁会)

毎週土曜日 4月: 1日・8日・15日・22日

☆血圧測定とおしゃべりの会(どなたでも参加できます)

毎週火曜日 4月: 4日・11日・18日・25日



葛原校区の皆さまへ

おでかけや買い物が便利になります

『乗って守ろう あいのりタクシー』

あいのりタクシー



4月3日から運行開始!

[1] ご利用方法

利用前日までに電話予約が必要です
自宅まで送迎いたします!



- ① 予約が無ければ運行しません
- ② 土・日・祝は運休です
- ③ “あいのり”の場合発着の時間が遅れることがあります



[行先]

自宅 ⇄ 葛原本町6丁目バス停 ⇄ サンリブシティ

[片道運賃]

おひとり 300円(小学生以上)

[電話予約]

093-522-5111 (受付:午前9時30分~午後5時30分)

お問合せ先:太陽交通(株)葛原営業所 ☎0120-334-881

葛原ふれあい春まつり ~防災&福祉フェスタ~

5年ぶりとなるふれあい春まつり防災&福祉フェスタの開催、3月4日と5日の2日間で延べ2000人余りの方が集まってみんなで春まつりの会場を盛り上げてくれました。

また、秋まつりから引き続き、たくさんの仲間にお手伝いをしていただきました。葛原小学校PTAげんこつクラブ、(一社)スピードゴン、そして九州栄養福祉大学の学生の皆さんが餅つき、検温や人数計測と準備から本番にいたるまで、額に汗しながら頑張ってくれました。やすらぎの紙面をお借りして関係者の皆さんに、厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。改めて皆さん方に葛原の力を感しました。私たちもそれを見習い校区自治会として葛原のまちづくりに精一杯邁進していこうと思います。これからも校区の皆さんご支援ご協力よろしくお祈いします。

葛原校区社会福祉協議会 会長 廣松 謙治



よろしくお祈いします!!

新しくセンター職員になる2名と生涯学習推進コーディネーターです。1日も早く地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお祈い致します。

葛原市民センター職員

荒巻 雅枝

松本 孝英

生涯学習推進コーディネーター

小代 智昭

葛原元気はつらつ会 グラウンドゴルフ7部会

令和5年度 会員募集

募集人数: 何人でも可

年会費: 1000円

申込み: 随時受付中

活動場所: 葛原公園グラウンド

※毎週月曜日(午前)・水曜日(午前)・金曜日(午後)に活動しています。

お申込み・お問い合わせ 葛原市民センター TEL475-2185

道具は貸し出します。
気軽にお越しください!!

わいわい市場葛原

4月1日(土)11:00~

売切れ終了

★エコバックをご持参ください。

次月開催予定日 5月13日(土)

主催 葛原校区まちづくり協議会



4月の地域の行事

★行事予定は、変更・中止になる場合があります。

葛原保育園 (472-9339) 1日(土)入園・進級式 12日・19日(水)英語教室 13日(木)誕生会 14日・21日(金)体操教室 17日(月)避難訓練	日豊保育園 (932-3033) 1日(土)入園・進級式 14日(金)お誕生日会 15日・22日(土)園児健康診断 17日・24日(月)体操教室 20日(木)水泳教室 25日(火)サッカー教室	葛原さくらんぼ保育園 (967-6660) 1日(土)入園・進級式 3日(月)身体測定 14日(金)誕生会 26日(水)避難訓練	うえっち保育園 (383-0240) 1日(土)進級・入園式 3日(月)身体測定 21日(金)避難訓練・消火訓練 28日(金)誕生会
葛原小学校 (471-7354) 7日(金)着任式・始業式 12日(水)入学式 1・6年生以外休み 13日(木)2~6年生給食開始 25日(火)教育相談 1日目 26日(水)教育相談 2日目 ※2日間とも給食終了後下校	葛原児童館 (473-4155) 4月は特に行事はありません。	湯川中学校 (922-6688) 7日(金)始業式 11日(火)入学式	沼中学校 (472-0784) 7日(金)始業式 11日(火)入学式

令和4年度文化祭

令和5年3月4日(土)・5日(日)の2日間、天候にも恵まれて沢山のお客様にお越しいただきました。心から感謝いたします。

文化祭はコロナ禍のため令和2年・3年は制限付きで取り組みました。今年度は縮小された規模ですが、ほぼ例年の状態で開催することができました。ステージ部門11クラブ、展示部門7クラブの参加で日頃の研鑽の成果を披露していただき、お客様と一緒に楽しむことができました。

センター登録クラブの皆さまには準備から後片付けまでご協力いただき誠にありがとうございました。



葛原市民センター 館長 長田 英徳
クラブ連絡協議会 会長 市村 ち絵



気軽っちゃサロン葛原

定員30名 参加費 無料 参加者募集中

4月18日(火) 10:00~12:00

肺がんのお話

~肺がんの正しい情報を学ぼう~

講師 小倉記念病院 呼吸器外科 部長 大崎 敏弘 氏

5月16日(火) 10:00~12:00

ようこそ、美術館へ

~美術品の知識を深めよう~

講師 北九州市立美術館 学芸課長 那須 孝幸 氏

お申込み・お問合せ:葛原市民センター ☎ 475-2185



思い出のつまった制服を次へとつなぐプロジェクト

学生服の3R

Reduce リデュース
Reuse リユース
Recycle リサイクル



お家で眠っている制服はありませんか？
まだまだ着られる制服を譲っていただきメンテナンスした後、ひとり親等の家庭の子供たちにリユースする取り組みを行っています。

小倉南区内の市民センターで回収します。

制服バンク福岡がクリーニングや補正等のメンテナンスを行います。

ひとり親等家庭や生活困窮家庭へ提供します。

お問合せ先 NPO 制服バンク福岡
小倉北区清水 2-3-18



令和5年度 小倉南区役所 親と子のための行事

事前予約不要

葛原校区 妊産婦・乳幼児なんでも相談

子どもの発育状況を知りたい、子育ての情報がほしい等、相談の場として開催しています。事前の予約はいりませんので、お気軽にご利用ください。保健師・看護師が、身長・体重測定や妊婦・出産・育児に関する個別相談を行います。(無料)

日時:第3水曜日 10:00~11:30
〈受付〉 10:00~11:00

会場:葛原市民センター1F 多目的ホール

持参物:母子健康手帳・バスタオル(身長計測で使用します)

内容:妊産婦の健康相談や乳幼児の身長・体重測定と育児相談

お問合せ先:小倉南区役所保健福祉課地域保健係(健康相談コーナー)

☎ 093-951-4125



好きっちゃ葛原



「葛原の歴史を綴る会」の皆さん(写真上) 学び合う中で新しい発見もありました。



表紙は葛原では馴染み深い松岡忠夫先生の作品です(写真左)。本誌は葛原市民センターの他、後日は市内の図書館でもご覧いただけるようになります。

葛原の歴史が「本」になりました

地名から探る地域の歴史

令和五年二月、葛原の歴史を著した本、「葛原と史(ふびと)の記(しるし)」が発行されました。市民センターの呼びかけで集まった有志、「葛原の歴史を綴る会」の皆さんと一緒に、学び合いながら作り上げた作品です。

タイトルにある「史(ふびと)」には、「歴史を伝える人」という意味があります。地域の歴史は、地域の人が、地域の人に伝えるもの。いわば、葛原に住まうお一人お一人が、「歴史を伝える人」。「史」であるという思いが込められています。

第一号となる今回の作品は、「地名から歴史を探る」ことをテーマにしたものです。かつて葛原には四一四もの小字がありました。その一つ一つに意味があります。例えば、「荒堀」という地名は、河川の氾濫でえぐり取られた場所、地形を意味しています。竹馬川沿岸には「浜」と付く地名が多くあります。「かつて葛原には海があった...」。そんな言い伝えを裏付けているかのようです。

地名を知ることには、単に過去の歴史を知ることではありません。地名の中には、過去に起こった自然災害を記憶するものもあります。これらを知ることは、未来に向けた防災への取り組みにもつながるのではないのでしょうか。もちろん、地名だけでなく危険な場所と決めつけて、むやみに住む人の恐怖心を煽るべきではないでしょう。様々な可能性や解釈を検討した上で、想定外の災害にも対応できる防災力を身につけること。これこそが祖先たちが、今を生きる私たちに託した、本当のメッセージなのかもしれません。へ文/久保田耕平